

講義 I

# レポートの文体

アカデミック・ライティング A

第7回

# この講義で学ぶこと

- レポートの文体

- レポートとしてふさわしい文章スタイル（文体）を知ろう。

# レポートの文体の原則

- 原則1. 常体に統一して書く。
- 原則2. 話し言葉と敬語は使わない。

# 原則1. 常体に統一して書く

- 書き言葉の文体には敬体（です・ます体）と常体（だ・である体）の2種類がある。
- レポートは常体が原則。

例：~~×~~（敬体） 英語教育が実施されます。



○（常体） 英語教育が実施される。

# 常体

- 文末で丁寧表現(です・ます)を用いない文体。
- 「だ・である体」とも呼ばれる。
  - ただし、「だ」や「である」で必ず終わるという意味ではない。

敬体	常体
大学です	大学だ／大学である
行きます	行く (×行くのだ)
良いです	良い (×良いのだ)
～しません	～しない (×しないのだ)

- 詳しくは「レポートの文体Ⅰ」補足資料を参照。

# 練習問題 問1

- 下線部の敬体をレポートにふさわしい常体に修正しなさい。
- ヒント：
  - 補足資料「レポートの文体」を参照しよう。

# 模範解答

[1]

札幌学院大学の構内では喫煙ができません。

常体：できない。

[2]

食品廃棄削減への取り組みが求められます。

常体：求められる。

[3]

防護ネットの設置で農作物の被害が減りました。

常体：減った。

## 原則2. 話し言葉は使わない

### • 縮約表現はNG

×: ~しちゃう

○: ~してしまう

×: ~してる

○: ~している

### • 砕けた表現はNG

×: やっぱり

○: やはり

×: こっちが

○: こちらが

×: そんな

○: そのような

×: ~なんだ

○: ~なのだ

## 敬語は使わない(1)

- 常に中立的な表現を選ぶ。
  - ×: …と田中先生はおっしゃっている。
  - ◎: …と田中は述べている。
- 「～様」「～の方(々)」などの敬称は使わない。
  - ×: 住民の方々の意見をきく。
  - ○: 住民の意見をきく。

## 敬語は使わない(2)

- 美化語の「お」を使わない。
  - × お客様 (○ 顧客、利用者、来店者など)
  - × お酒 (○ 酒類、日本酒など)
  - × お金
- 機材の購入には多額の~~お~~金が必要だ。  
資金／費用
- 施設の利用には~~お~~金がかかる。  
料金／使用料

## 練習問題 問2

- レポートとして不適切な個所に下線を引き、修正せよ。
- ヒント：
  - 補足資料「レポートの文体」を参照しよう。

# 模範解答

[1]

そんな事態も想定した防災計画となってる。

そのような

なっている

[2]

札幌市在住のお年寄りの方々にアンケート調査を実施した。

高齢者 など

# 模範解答

[3]

工場誘致をしないべきだというご意見も多い。

すべきで(は)ない

意見

[4]

満足度の向上には、お客様の要望を的確に把握する  
必要があります。

常体:ある

顧客／利用者 など